第６３回（平成２２年度）

社団法人　福島県放射線技師会総会資料

期　日　　平成２２年５月１５日（土）13:30 ～ 20:00

平成２２年５月１６日（日）　9:00 ～ 11:00

会　場　　会津東山温泉「東山グランドホテル」　会津若松市

福島県会津若松市東山町大字湯本字上湯本５番地
ＴＥＬ 0242-27-3500

プログラム

平成２２年5月１５日（土）

１３：３０	受付
１４：１０	学術委員会分科会活動内容発表会
１５：１５	開場　一般公開
１５：２５	特別講演　「災害活動現場の現状」 講師：会津若松消防本部警防グループ 消防司令 真部文夫　先生
１６：１５	終了
１６：３０	総会

＊　総会終了後、各分科会ごとの情報交換会が予定されています。
日頃疑問に思うこと、聞きたいことを整理して参加しましょう。

平成２２年5月１６日（日）

９：００	分科会活動方針に関する討論
１１：００	全体集約　解散

総会資料は総会会場に用意してあります。

総会次第

司　会　吉野さゆり

一、開会の辞　副会長　遊佐　烈

二、会長挨拶　会　長　鈴木憲二

三、表　　彰　永年勤続（２０年・３０年）

四、総会運営ならびに資格審査委員選出

五、議長選出

六、議事録署名人選出

七、書記選出

八、資格審査報告

九、議事

第１号議案　平成２１年度事業報告について
第２号議案　平成２１年度決算報告について
第３号議案　平成２１年度監査報告について
第４号議案　平成２２年度事業計画案について
第５号議案　平成２２年度予算案について
第６号議案　その他

十、議長・書記解任

十一、閉会の辞　副会長　斎藤康雄

三、平成２１年度表彰者名簿

１．　社団法人日本放射線技師会　永年勤続（５０年）

伊藤　陸郎

２．　社団法人日本放射線技師会　永年勤続（３０年）

青柳不二雄	大原綜合病院付属健康クリニック	（県北）
村上　博文	川俣病院	（県北）
佐々木　徹	太田綜合病院付属太田熱海病院	（県南）
白川　義廣	竹田綜合病院	（会津）
星　　寿郎	坂下厚生総合病院	（会津）
泉　　英親	菅波病院	（浜通）
志賀　秀範	いわき市立総合磐城共立病院	（浜通）

３．　社団法人福島県放射線技師会　永年勤続（２０年）

県北支部

高野　基信	福島県立医科大学附属病院
阿部　　智	大原綜合病院附属大原医療センター
木戸　敏平	福島西部病院
渡辺　義秋	福島県保健衛生協会

県南支部

堤　　雅紀	星総合病院
増子　勇一	寿泉堂綜合病院

会津支部

水谷　和芳	西会津診療所
渡部　　仁	喜多方病院
遠山　和幸	会津総合病院

浜通支部

村上　薫	小野田病院
森下　克彦	かしま病院
村上　光幸	いわき市立総合磐城共立病院

４．　学術奨励賞

平成２１年度学術奨励賞

「３D-Resolution を考慮した画像再構成条件の検討」

公立学校法人福島県立医科大学附属病院　永井　千恵

「当院における Virtual　Wedge と Phisical　Wedge の比較検討」

JA 福島厚生連　白河厚生総合病院　　田代　和広

シネ研学術奨励賞

学術調査研究班報告

「ＭＤＣＴ装置の性能評価に関する基準案の提案班報告」

元福島県立医科大学附属病院　放射線部

片倉俊彦　他

日本放射線技術学会雑誌　Vol.65,No.4,491-502,(2009)

四、総会運営ならびに資格審査委員選出

４名（　　）　　県北支部
（　　）　　県南支部
（　　）　　会津支部
（　　）　　浜通支部

五、議長選出

２名（　　）　　浜通支部
（　　）　　会津支部

六、議事録署名人

２名（　　）　　会津支部
（　　）　　会津支部

七、書記選任

２名（　　）　　会津支部
（　　）　　会津支部

八、資格審査報告

定款２４条（定足数）
会議は、総会においては正会員総数の過半数以上、理事会においては理事現在数の３分の２以上の出席がなければ開会することができない。

正会員数　　６２５　名
委任状出席者数　　名
総会出席者数　　名

第１号議案　　平成２１年度事業経過報告

総括

一昨年起こったリーマン・ショックの影響による経済危機は未だに解消されず、正規職員の新採用どころか非正規職員の解雇に始まり、雇用不安の中で経済的な発展が望めないまま景気が後退した。また賃金の抑制によりデフレスパイラルに陥った。政治的には長年続いていた自由民主党から民主党へ政権交代が起こったが積極的な経済対策が打ち出せなかったため経済危機は未だ続いている。また医療界においても昨年大流行した新型インフルエンザへの対策が後手となったり、度重なる診療報酬の引き下げによる病院経営への圧迫、医師不足と悪政による病院の閉鎖等多くの問題を露呈した。特に医師不足による救急患者の病院たらい回しは、医療そのものの本質が崩壊していく結果となり、今後の医療制度の建て直しが急務であると考えられる。このような振れはしばらく継続するものと思われ、医療制度や放射線技師の教育制度など広範囲の情報に注意深い関心を寄せる必要があり、福島県放射線技師会の役割は重要なものとなっている。

このような情勢の中、平成２１年度は福島県放射線技師会会員の放射線技術レベルの向上による地域医療への貢献ならびに緊急被曝医療を主とした防災活動への参加や自治体主催行事への参加などによる放射線技師の社会貢献において一定の成果を得た。具体的には、精度管理中央委員会との共催による福島県マンモグラフィ技術講習会の開催により、多数の乳房撮影精度管理委員会認定者を輩出した。更に、各種の研修会ならびに講演会などを数多く開催する事によって会員のレベルアップを図ることが出来た。また、福島県の原子力防災訓練などに積極的に協力するなど地域住民の健康を守る活動を行った。

このことは外部からの評価も高く、今年度申請している公益社団法人への移行の取組、来年度の公益法人認可に向けて順調に進捗している。また日本放射線技師会会員への本会会員の減少は認められるが、本会の会員数には影響が無く、福島県放射線技師会の主旨が理解されているものと思われた。今後も会員となるメリットや魅力を創出し、技師会未加入放射線技師の勧誘など志向する必要がある。

以上、平成２１年度は役員諸氏の犠牲的活動により着実に事業が施行され概ね順調な推移であった。職場情勢の厳しい折りであることから、役員諸氏の厚意に対し深甚の謝意を表するとともに更なる御協力を御願いしたい。

また、福島県放射線技師会の会員としてのメリットがより明確に理解できるよう、的確な判断材料となる情報収集を幅広く行い発信したい。

会務報告

4月2日	平成２０年度福島県放射線技師会第５回理事会	福島医大 放射線部
4月10日	県北支部総会	福島テルサ
4月22日	平成21年度県南支部総会	ビッグアイ
4月25日	会津支部総会・研究発表会	ホテル　ニューパレス
4月25日	浜通り支部総会・学術発表会	リフレ富岡
4月28日	県北支部第１回理事会	保健衛生協会
5月16日～17日	福島県放射線技師会総会	福島市飯坂温泉　あづま荘
5月21日	第１回浜通り支部役員会	南相馬市立総合病院（応接室）
5月30日	福島県ＭＲＩ技術研究会	福島テルサ
6月4日	第２回浜通り支部役員会	リフレ富岡
6月4日～6日	第２５回放射線技師総合学術大会	かごしま県民交流センター
6月5日	日本放射線技師会総会	かごしま県民交流センター
6月9日	県南支部第１回理事会	ビッグアイ
6月12日	福島県放射線技師会第１回理事会	福島医大 放射線部
6月20日	福島県ＣＴビギナーズセミナー	コラッセ福島
6月27日	福島県臨床画像研究会	福島テルサ
6月27日	福島県放射線技師会　合同委員会	福島テルサ
6月28日	県北支部第２回理事会	保健衛生協会
7月2日	第１回会津支部　理事会	竹田綜合病院　東２Ｆ会議室
7月17日	第７１回会津画像研究会	山鹿クリニック　２Ｆ西側会議室
7月21日	第７回いわき地区　画像研究会	いわき保健センター
7月25日	緊急被ばく医療基礎講座Ｉ（除染コース・搬送コース）	福島医大　光が丘会館、除染棟
7月25日	県南支部サマーセミナー	ビッグアイ
7月25日	県南支部情報交換会（ビア・パーティー）	魯山　（郡山市）
8月1日	福島県乳腺画像研究会	ビッグパレット
8月1日	消化器撮影研究会	ビッグパレット
8月9日	福島県放射線治療分科会	南東北がん陽子線治療センター
8月20日	全国新任会長会議	日放技　会議室
8月20日	全国会長会議	日放技　会議室
8月20日	東北地域会長会議	日放技　会議室
8月24日	県北支部第３回理事会	保健衛生協会
8月29日	県北画像研究発表会	福島テルサ

8月29日	県北支部　暑気払い	福島テルサ
8月29日	浜通り支部夏期学術研修会	いわき市総合保健福祉センター
8月29日	第３回浜通り支部役員会	いわき市総合保健福祉センター
9月5日	いわき地区　健康祭り	いわき市総合保健福祉センター
9月11日	相双地区　画像診断勉強会	南相馬市　ホテル　ラフィーヌ
9月26日	緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ（ホールボディカウンターコース）	福島医大　除染棟
9月26日	県北支部「健康フェスタ２００９」	福島市健康福祉センター
9月27日	「第２５回　会津若松市健康まつり」	会津若松市文化センター
10月3日	ネットワーク委員会	郡山市　ビッグアイ
10月4日	郡山健康フェスタ 2009	郡山総合体育館
10月17日～18日	福島マンモグラフィー技術講習会	福島医大　第２臨床講義室、放射線部
10月18日	いわき地区市民公開講座	いわき市総合保健福祉センター
10月23日	精度管理委員会	大田西ノ内病院　５号館　２Ｆ　会議室
10月24日	ＭＤＣＴカンファランス	福島テルサ
10月25日	生涯学習セミナー（ＣＴ検査）	盛岡市　アイーナ
10月27日	第８回いわき地区　画像研究会	いわき保健センター
10月30日	第７２回会津画像研究会	山鹿クリニック　２Ｆ　西側会議室
11月1日	福島県放射線技師会学術大会	福島医大　講堂
11月7日	東北地域会長会議	青森市国際ホテル
11月8日	東北地域学術大会	青森市男女共同参画プラザ
11月13日	福島県放射線技師会第２回理事会	福島医大 放射線部
11月18日	県南支部第２回理事会	ビッグアイ
11月25日	画像診断・病診連携懇話会	福島ビューホテル
11月26日	第２回会津支部　理事会	竹田綜合病院　東２Ｆ会議室
11月26日	県北支部第４回理事会	保健衛生協会
11月26日～27日	メディカルクリエーションふくしま２００９	ビッグパレット
11月29日	生涯学習セミナー（ＣＴ検査）	福島医大第２臨床講義室
12月6日	第２回治療分科会	南東北がん陽子線治療センター2 階大会議室
12月12日	リレー・フォー・ライフ福島実行委員会呼びかけ委員会	福島医大光が丘会館
12月22日	福島県原子力防災訓練	富岡町総合体育館、他
1月14日	福島県放射線技師会第３回理事会	福島医大 放射線部
1月15日	いわき地区勉強会	クレールコート
1月16日	第１７回福島県画像技術研究会	福島テルサ

1月 30 日	リレー・フォー・ライフ福島実行委員会	福島医大光が丘会館
1月 30 日	県北支部ＣＴ勉強会・新年会	福島テルサ
1月 30 日	県南支部新年勉強会	ビッグアイ
1月 30 日	県南支部新年情報会	坐　和民
2月 1 日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁　医療看護課
2月 5 日	第７３回会津画像研究会	山鹿クリニック　２Ｆ　東側会議室
2月 5 日	会津支部新年会	レストラン　タイム
2月 5 日	第４回浜通り支部役員会、浜通り支部表彰委員会	リフレ富岡
2月 20 日	福島県放射線技師会学術講演会	サンルートプラザ福島
2月 23 日	第９回いわき地区画像研究会勉強会	いわき市立保健センター
2月 25 日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁　医療看護課
2月 26 日	福島県放射線技師会第４回理事会	福島医大 放射線部
2月 26 日	相双地区画像診断勉強会	南相馬市　ロイヤルホテル丸屋
2月 27 日	県北支部学術講演会	福島テルサ
3月 2 日	第３回会津支部　理事会	竹田綜合病院　東２Ｆ会議室
3月 12 日	精度管理委員会	太田西ノ内病院
3月 14 日	第３回治療分科会	南東北がん陽子線治療センター
3月 24 日	県南支部第３回理事会	ビッグアイ
3月 27 日	日本消化器がん検診学会東北支部超音波部会研修会福島セミナー	コラッセふくしま
3月 29 日	県北支部第５回理事会	保健衛生協会

１、　平成２１年度総会

開催日時　　平成２１年５月１６日（土）～１７日（日）

開催場所　　「あづま荘」　　福島市

会員総数　６２６名中　５０６名（うち委任状　４５５名）の出席で開催された。　提案された議題は原案通り可決された。

特別講演　「現在の医療状況」

講師　　富士フイルム（株）　野口雄司　氏

２、　福島県放射線技師学術大会の開催

開催日時　平成２１年１１月１日（日）

会　　場　福島県立医大講堂

県会員から２５演題のほか、ランチョンセミナーなど、１４７名の参加登録の下に開かれた。

３、　福島県生活習慣病従事者指導講習会

今年度は胃がん部門を独自事業として、乳がん部門を福島県の委託事業として実施した。

A、　乳がん検診（マンモグラフィ）従事者研修会

開催日時　平成２１年　１０月１７（土）～１８（日）

会　　場　福島県立医大附属病院放射線部

今年度も、マンモグラフィ精度管理中央委員会の認定講習として実施し、県内から　４７名受講した。講習後、認定試験が行われた。

また、更新者講習も平行して行われた。今年度は胃がん部門を独自事業として、乳がん部門を福島県の委託事業として実施した。

B、　胃がん検診従事者研修会

開催日時　平成２１年８月１日（土）

会　　場　ビックパレットふくしま

消化器研究会と合同で開催された。参加者６１名 会員５５名。

一般講演

「基準撮影について」

(財)福島県保健衛生協会　　亀山欣之

「当院における食道ー噴門部の撮影」

済生会福島総合病院　　遠藤　浩

「前壁撮影のポイント」
わたり病院　　会田怜史
「当院における胃体中部ー十二指腸球部の撮影」
大原健康クリニック　　町田　拓郎
特別講演
「胃X線検査の撮影と読影の実際」
(財)早期胃癌検診協会　診療部長　　長浜　隆司　先生

原子力防災関連事業

平成２１年　７月２５日	福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ」（除染・搬送コース）
平成２１年　９月２６日	福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ」（ホールボディカウンターコース）
平成２１年１２月２２日	福島県原子力防災訓練

４、　全国放射線技師総合学術大会

平成２１年６月４～６日、かごしま県民交流センターにて開催された。
永年勤続表彰で５０年表彰　０名、３０年表彰　１５名が受賞した。

５、　分科会・研究会および部会の活動

①治療分科会

福島県放射線治療研究会	平成 21 年 08 月 09 日（南東北がん陽子線治療センター）
	平成 21 年 12 月 06 日（南東北がん陽子線治療センター）
	平成 22 年 03 月 14 日（南東北がん陽子線治療センター）

②消化器分科会

福島県消化器撮影研究会	平成 21 年 08 月 01 日（ビッグパレット）

③乳房分科会

福島県乳腺画像研究会	平成 21 年 08 月 01 日（ビッグパレット）

④ＣＲ分科会

福島県ＣＲ研究会	平成 22 年 01 月 16 日（福島テルサ）

⑤ＭＲ分科会

福島県ＭＲＩ技術研究会	平成 21 年 5 月 30 日（福島テルサ）

⑥ＣＴ分科会

福島県画像技術研究会	平成 22 年 01 月 16 日（福島テルサ）
福島県 CT ビギナーズセミナー	平成 21 年 06 月 20 日（コラッセふくしま）

⑦その他の研究会

福島県臨床画像研究会　　平成21年06月27日（福島テルサ）

⑧福島県放射線管理士部会

緊急被ばく医療講習会への参加

福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ」　　平成21年 7月25日

（除染搬送コース）（９名参加）

福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ」　　平成21年 9月26日

（ホールボディカウンターコース）（７名参加）

原子力防災訓練関連への参加

福島県原子力防災訓練（８名参加）　　平成21年12月22日

放射線利用に関する啓もう活動

いわき地区　健康祭り　　平成21年9月5日

福島市「健康フェスタ」　　平成21年9月26日

会津若松市「第25回健康まつり」　　平成21年9月27日

郡山市「ファミリーフェスタ」　　平成21年10月4日

６、　各委員会活動

①総務企画委員会

会員数の増員を目指す広報活動及び調査活動－＞各種講習会の企画

②学術委員会

福島県放射線技師学術大会　各種研修会の開催など

福島県放射線技師学術大会プログラム・抄録のホームページへの掲載

③広報編集委員会

ニュース・会報の発行　（１０項　参照）

④精度管理委員会

福島県内医療機関に於ける「ＰＡＣＳ導入率調査」に関する

アンケート内容を検討した。

⑤調査委員会

調査テーマは『放射線技師の定数の基準は？』でアンケート内容の検討

および集計シートを作成した。

⑥ネットワーク委員会

福島県放射線技師会のホームページの更新

一般向けホームページの作成。

会員向けホームページの更新。

学術用抄録のサーバーへの保存について

⑦財務委員会

今年度会費納入率は９３％であった。

遅延は同じ方の場合が多く、事務労力簡素化のためご協力頂きたい

⑧生涯教育委員会

a.）アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動。

臨床技術能力資格のための講習会の開催

生涯学習セミナー｛Ｘ線ＣＴ検査｝の開催

b.）生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発

県独自のポイント制度の確立。

生涯学習システムへの日放技ポイント登録のためのフォーマットの作成および申請手順の決定。

c.）日放技の教育委員要件を満たす教育委員の養成

７、　市町村健康事業への参加

いわき地区　健康祭り	平成 21 年 09 月 05 日（土）
福島市健康フェスタ２００９	平成 21 年 09 月 26 日（土）
会津若松市健康まつり	平成 21 年 09 月 27 日（日）
郡山市ファミリーフェスタ２００９	平成 21 年 10 月 04 日（日）
いわき地区市民公開講座	平成 21 年 10 月 18 日（日）

８、ニュース・会報の発行

平成21年度　（社）福島県放射線技師会ニュース

１１４号	平成２１年	４月３０日発行	巻頭言	片倉前会長担当	県北支部（池田）
１１５号	平成２１年	６月３０日発行	巻頭言	鈴木会長担当	浜通支部（今野）
１１６号	平成２１年	８月３１日発行	巻頭言	斎藤副会長担当	県南支部（本間）
１１７号	平成２１年	１０月３１日発行	巻頭言	遊佐副会長担当	県北支部（池田）
１１８号	平成２２年	１月　１日発行	巻頭言	鈴木会長担当	浜通支部（村上）
１１９号	平成２２年	３月　１日発行	巻頭言	斎藤副会長担当	会津支部（森谷）

会報の発行　　平成２２年　３月　　第４６号

９、庶務報告

正会員数	平成２１年度当初	６２６名
	平成２１年度　末	６２５名
	入会（転入含む）	２８名
	退会（転出含む）	２９名
名誉会員数		１２名
賛助会員数		２８社

第2号議案　　平成21年度　決算報告

平成21年度決算書　（収入の部）

平成21年4月1日～平成22年3月31日

勘定科目 款	項目	予算	決算	差額	備考
会費収入		7,350,000	6,890,000	460,000	
	正会員通常会費	6,330,000	5,870,000	460,000	＊１
	賛助会員会費	1,020,000	1,020,000	0	H20年度(6社) H21年度(28社)
事業収入		700,000	618,000	82,000	
	広告料	600,000	570,000	30,000	会報、抄録集広告
	各種研修会	100,000	48,000	52,000	学術講演会参加費
助成金受託収入		250,000	217,200	32,800	
	成人病検診従事者講習会	250,000	217,200	32,800	福島県より助成金
寄付金収入		10,000	0	10,000	
	寄付金	10,000	0	10,000	
繰入金収入		0	10,000	−10,000	
	事務所拡充積立金	0		0	
	学術奨励積立金	0		0	
	減価償却積立金	0		0	
	学術奨励基金	0	¥10,000	−10,000	シネ研学術奨励賞
雑収入		4,000	1,717	2,283	
	利子	3,000	1,717	1,283	
	雑収入	1,000	0	1,000	
当期収入合計（A）		8,314,000	7,736,917	577,083	
前期繰越収支差額		4,202,355	4,202,355	0	
収入合計　（B）		12,516,355	11,939,272	577,083	

＊1	会員	562	¥10,000	¥5,620,000
	終身	2	¥10,000	¥20,000
	新人	23	¥10,000	¥230,000
		587		¥5,870,000

平成21年度　決算報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

勘定科目 款	項	目	予算	決算	差額	備考
事業費			7,470,000	3,945,990	3,524,010	
	学術研修事業費		3,400,000	2,048,241	1,351,759	
		学術発表開催費	1,000,000	1,386,275	-386,275	福島県放射線技師学術大会
		表彰費	300,000	139,482	160,518	学術奨励金、学術奨励賞
		成人病検診従事者講習会	500,000	135,332	364,668	乳房研修会
		学術委員会専門分科会	700,000	140,000	560,000	分科会助成金
		学術研修費	900,000	247,152	652,848	学術講演会
	出版広報事業費		2,100,000	1,056,330	1,043,670	
		会報	1,300,000	500,550	799,450	会報46号
		ニュース	500,000	409,500	90,500	放技ニュース114～119号
		通信運搬費	300,000	146,280	153,720	会報・ニュース発送料
	啓蒙普及事業費		1,650,000	695,165	954,835	
		放射線相談コーナー	150,000	80,640	69,360	健康フェスタ
		パンフ・パネル展	300,000	112,240	187,760	乳ガン検診啓発用ティッシュ等
		一般講演会	300,000	12,455	287,545	総会特別講演会講師謝礼
		調査指導費	100,000	25,560	74,440	調査委員会
		災害教育訓練費	600,000	303,570	296,430	動産保険料・線量校正
		ホームページ維持費	100,000	67,200	32,800	インターネット接続料
		広報・広告費	100,000	93,500	6,500	新聞広告等
	厚生事業費		200,000	34,454	165,546	
		厚生費	200,000	34,454	165,546	弔電・香典・花環等
	分担金		120,000	111,800	8,200	
		東北地区技師会	120,000	111,800	8,200	会員数×200円
管理費			3,450,000	2,376,872	1,073,128	
	人件費		500,000	390,000	110,000	
		人件費	500,000	390,000	110,000	公認会計費用・臨時雇用費等
	会議費		400,000	401,680	-1,680	
		総会費	300,000	209,770	90,230	
		理事会費	50,000	164,707	-114,707	
		委員会費	50,000	27,203	22,797	
	旅費交通費		1,450,000	1,001,840	448,160	
		理事会旅費	400,000	579,540	-179,540	
		役員旅費	250,000	20,500	229,500	
		委員会旅費	800,000	401,800	398,200	
	需用費		1,000,000	551,842	448,158	
		事務消耗品費	300,000	319,307	-19,307	
		通信運搬費	250,000	135,580	114,420	
		什器備品費	300,000	0	300,000	
		雑費	150,000	96,955	53,045	
	事務所管理費		100,000	31,510	68,490	
		賃貸料、公課等	100,000	31,510	68,490	
繰出金			950,000	950,000	0	
	事務所拡充積立金		800,000	800,000	0	
	学術奨励積立金		0	0	0	
	減価償却積立金		150,000	150,000	0	
	学術奨励基金		0	0	0	
予備費			656,355	0	656,355	
当期支出合計　（C）			12,526,355	7,272,862	5,253,493	

当期収入合計　（A）	7,736,917		
前期繰越収支差額	4,202,355	収支差額　（B）－（C）	4,666,410
収入合計　（B）	11,939,272	単年度収支差額（A）－（C）	464,055
当期支出合計　（C）	7,272,862		

平成21年度積立金会計報告

事務所拡充積立金　（定期預金）

平成21年4月1日～平成22年3月31日

科　目		予　算	決　算	差　額	備　考
収入の部		10956418	10936994	19424	
	前期繰越収支差額	10136418	10136418	0	
	繰出金収入	800000	800000	0	130-11423
	寄付金収入	0		0	
	雑収入	20000	576	19424	130-146838
支出の部		0	0	0	
	繰入金支出	0	0	0	
積立金残高		**10956418**	**10936994**	19424	

学術奨励金積立金 （定期預金）

科　目		予　算	決　算	差　額	備　考
収入の部		2555989	2554301	1688	
	前期繰越収支差額	2549989	2549989	0	130-11407
	繰出金収入	0		0	
	寄付金収入	0		0	
	雑収入	6000	4312	1688	130-141968
支出の部		0	0	0	
	繰入金支出	0	0	0	
積立金残高		**2555989**	**2554301**	1688	

減価償却積立金 （定期預金）

科　目		予　算	決　算	差　額	備　考
収入の部		803700	798848	4852	
	前期繰越収支差額	648700	648700	0	
	繰出金収入	150000	150000	0	130-11415
	寄付金収入	0		0	
	雑収入	5000	148	4852	130-146820
支出の部		0	0	0	
	繰入金支出	0	0	0	
積立金残高		**803700**	**798848**	4852	

学術奨励基金 （普通貯金）

科　目		予　算	決　算	差　額	備　考
収入の部		241377	241269	108	
	前期繰越収支差額	241177	241177	0	130-140538
	繰出金収入	0		0	
	寄付金収入	0		0	
	雑収入	200	92	108	
支出の部		10000	10000	0	
	繰入金支出	10000	10000	0	
積立金残高		**231377**	**231269**	108	

第３号議案　　平成２１年度　監査報告

平成２２年　４月　　日

会 計 監 査 報 告 書

（社）福島県放射線技師会

会長　鈴木憲二　殿

（社）福島県放射線技師会定款第３４条に基づき、平成２０年度の監査を、平成２２年　４月　　日に実施した結果、適正に処理されていることを認めます。

（社）福島県放射線技師会

監　　事　　片倉　俊彦　印

外部監事　　高橋　宏和　印

第４号議案　　平成２２年度事業計画（案）

総括

リーマン・ショックによる経済危機はますます混迷を深め、アメリカでは日本車バッシングともとれる米議会での公聴会により輸出に頼る日本経済に大打撃を与えている。また民主党政権による経済対策への遅れや政局の混乱による行政の停滞も著しい。この様な情勢の中、医療制度の方向も不透明であり、患者さんの不安も増大しつつある。

この様な事態において私達医療従事者が行い得る事は唯一、患者さんと医療従事者の信頼関係を確立し、安心して医療を受けて貰うことである。すなわち、医療技術者としての使命忘れず、誇りと自信を持って患者さんに接することである。このためには裏付けとなる放射線診療技術の高揚は必須であり、本年度も引き続き学術大会、学術講演会を初めとする学術活動を行う。

また、法人に関する法律の施行により従来の公益法人としての活動を再度承認させる移行申請を今年度も行う。今までも福島県放射線技師会は県内医療に貢献するため放射線技師の資質の向上を目的としていろんな事業を行ってきた。放射線技師が最新の技術、豊富な知識を持ち個々にレベルアップすれば県民に対する医療レベル向上へと期待されるからである。県民から見える公益性のある事業として福島県放射線技師会は各方部で開催の「健康祭り」と毎年行われている福島県原子力防災訓練に協力をしてきた。今年度は更に多くの県民が参加できる事業として、福島県放射線技師会総会時の特別講演、福島県放射線技師会学術大会の講演を県民に公開していく。

平成２２年９月４日（土）から５日（日）にわたって福島医大　陸上競技場をメイン会場として開催されるリレー・フォー・ライフに福島県放射線技師会として後援し、リレーウォークに参加し２４時間交代で歩ける人数を募集している。是非多くの会員がこのイベントに参加するようお願いしたい。

最後に、福島県放射線技師会の目的は放射線の専門技術者としての社会貢献である。今まで行ってきた集団検診の啓もうや原子力災害対策に対する協力などもその一環である。地域住民が過度に放射線を怖がることなく、医療放射線や原子力の有用性を享受できるよう放射線技師の専門的知識を駆使した啓もう活動や原子力災害時対応のための知識習得ならびに実務訓練に努力する。

福島県放射線技師会の個性を発揮し、県民への貢献を果たすため会員の総力を結集し安定した組織として活動する。

１．平成２２年度総会

平成２２年５月１５・１６（土・日）「東山グランドホテル」　会津若松市

特別講演

演題　「災害活動現場の現状　」

講師　会津若松消防本部警防グループ

消防司令 真部文夫　先生

２．福島県放射線技師総合学術大会の開催

平成２２年１０月３１日（日）　福島市　福島医大講堂

３．各種委員会活動

①総務企画委員会

県内放射線技師実態調査。会員数の増員を目指す広報活動及び調査活動。

②学術委員会

福島県放射線技師学術大会の開催

各種研究会・研修会・講演会の支援活動

③広報編集委員会

ニュース・会報の発行

④精度管理委員会

福島県内医療機関に於ける「ＰＡＣＳ導入率調査」に関するアンケートの発送及び集計。

⑤調査委員会

２２年度調査テーマ『放射線技師定数の基準は？』に関するアンケート発送(5 月)､回収(6 月)､分析(7,8,9 月)、報告(10 月)。

⑥ネットワーク委員会

ホームページの新規更新

医療従事者向けページの新規作成、公開

会員向けトップページ内容新規更新、公開

ホームページの維持管理

⑦財務委員会

会費の支払いが日放技と混同されないよう会費納入方法を周知し、会費納入率のアップを図る。特に、前年度会費未納者には注意を喚起する。

⑧生涯教育委員会

a.）アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動。

b.）生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発

c.）JART の教育委員を福島県放射線技師会会員から養成する

d.）放射線管理士、機器管理士の更新手続きの啓もう

４．　緊急被ばく医療防災対策への協力

県主催の緊急時医療活動訓練に参加する

緊急被ばく医療講習会への会員派遣

福島県原子力防災行政への参加協力

福島県緊急被ばく医療対策連絡会議

５．胃がん検診従事者研修会の開催

６．乳がん検診従事者研修会の開催

７．専門分科会・各種研究会および部会の活動

６分科会（治療、消化器、乳房、ＣＲ、ＭＲ、ＣＴ），１部会（放射線管理士）

福島県放射線治療研究会

福島県消化器撮影研究会　平成 22 年 09 月 04 日（ビッグパレット）

福島県乳腺画像研究会　平成 22 年 07 月 17 日（ビッグパレット）

福島県ＣＲ研究会　平成 23 年 01 月 22 日（福島テルサ）

福島県ＭＲＩ技術研究会　平成 22 年 07 月 10 日（コラッセ福島）

福島県画像技術研究会　平成 23 年 01 月 22 日（福島テルサ）

福島県ＣＴビギナーズセミナー　平成 22 年 06 月 19 日（福島テルサ）

福島県放射線管理士部会

◎緊急被ばく医療活動に関する研修を実施する。

１）放射線管理士部会主催による研修会を実施する（年１回程度）。

２）(財)原子力安全研究協会や福島県が主催する研修会へ参加する。

３）福島県原子力防災訓練へ参加または参画する。

◎放射線診療や放射線被ばくに関する啓もう活動を実施する。

１）各自治体が開催する「健康まつり」へ参加する。

◎放射線管理士部会の活性化を図る。

１）放射線管理士部会の入会を促進する。

Ex.　県技師会のホームページやニュースに活動内容を掲載し、会員に広く知ってもらう。

福島県臨床画像研究会　平成 22 年 06 月 26 日（福島テルサ）

第５号議案　　平成２２年度　予算案

平成２２年度予算案　（収入の部）

平成２２年４月１日～平成２３年３月３１日

勘定科目 款	項目	予算	前年度予算	差額	備考
会費収入		7,190,000	7,350,000	-160,000	
	正会員通常会費	6,350,000	6,330,000	20,000	＊１
	賛助会員会費	840,000	1,020,000	-180,000	
事業収入		700,000	700,000	0	
	広告料	600,000	600,000	0	
	各種研修会	100,000	100,000	0	
助成金受託収入		250,000	250,000	0	
	成人病検診従事者講習会	250,000	250,000	0	
寄付金収入		10,000	10,000	0	
	寄付金	10,000	10,000	0	
繰入金収入		0	0	0	
	事務所拡充積立金	0	0	0	
	学術奨励積立金	0	0	0	
	減価償却積立金	0	0	0	
	学術奨励基金	0	0	0	
雑収入		3,000	4,000	-1,000	
	利子	2,000	3,000	-1,000	
	雑収入	1,000	1,000	0	
当期収入合計（A）		8,153,000	8,314,000	-161,000	
前期繰越収支差額		4,666,410	4,202,355	464,055	
収入合計　（B）		12,819,410	12,516,355	303,055	

*1	会員	563	¥10,000	¥5,630,000
	終身	2	¥10,000	¥20,000
	新人	20	¥10,000	¥200,000
	H21年度会費未徴収分	50	¥10,000	¥500,000
		635		¥6,350,000

平成２２年度予算案　（支出の部）

平成２２年４月１日～平成２３年３月３１日

勘定科目 款 項 目	予算	前年度予算	差額	備考
事業費	**7,770,000**	**7,470,000**	**300,000**	
学術研修事業費	**3,700,000**	**3,400,000**	**300,000**	
学術発表開催費	1,300,000	1,000,000	300,000	
表彰費	300,000	300,000	0	
成人病検診従事者講習会	500,000	500,000	0	
学術委員会専門分科会	700,000	700,000	0	
学術研修費	900,000	900,000	0	
出版広報事業費	**1,600,000**	**2,100,000**	**-500,000**	
会報	800,000	1,300,000	-500,000	
ニュース	500,000	500,000	0	
通信運搬費	300,000	300,000	0	
啓蒙普及事業費	**2,150,000**	**1,650,000**	**500,000**	
放射線相談コーナー	150,000	150,000	0	
パンフ・パネル展	500,000	300,000	200,000	
一般講演会	300,000	300,000	0	
調査指導費	100,000	100,000	0	
災害教育訓練費	600,000	600,000	0	
ホームページ維持費	200,000	100,000	100,000	
広報・広告費	300,000	100,000	200,000	新聞広告、各種イベント参加
厚生事業費	**200,000**	**200,000**	**0**	
厚生費	200,000	200,000	0	
分担金	**120,000**	**120,000**	**0**	
東北地区技師会	120,000	120,000		
管理費	**3,450,000**	**3,450,000**	**0**	
人件費	**500,000**	**500,000**	**0**	
人件費	500,000	500,000	0	
会議費	**400,000**	**400,000**	**0**	
総会費	300,000	300,000	0	
理事会費	50,000	50,000	0	
委員会費	50,000	50,000	0	
旅費交通費	**1,450,000**	**1,450,000**	**0**	
理事会旅費	600,000	400,000	200,000	
役員旅費	250,000	250,000	0	
委員会旅費	600,000	800,000	-200,000	
需用費	**1,000,000**	**1,000,000**	**0**	
事務消耗品費	300,000	300,000	0	
通信運搬費	250,000	250,000	0	
什器備品費	300,000	300,000	0	
雑費	150,000	150,000	0	
事務所管理費	**100,000**	**100,000**	**0**	
賃貸料、公課等	100,000	100,000	0	
繰出金	**950,000**	**950,000**	**0**	
事務所拡充積立金	800,000	800,000	0	
学術奨励積立金	0	0	0	
減価償却積立金	150,000	150,000	0	
学術奨励基金	0	0	0	
予備費	**649,410**	**656,355**	**-6,945**	
当期支出合計　（C）	**12,819,410**	**12,526,355**	**293,055**	

当期収入合計　（A）	8,153,000
前期繰越収支差額	4,666,410
収入合計　（B）	12,819,410
当期支出合計　（C）	12,819,410

収支差額　（B）－（C）　0

平成２２年度積立金会計予算案　　平成２２年４月１日～平成２３年３月３１日

事務所拡充積立金　（定期預金）

科　目		予　算	前年度予算	差　額	備　考
収入の部		¥11,756,994	¥10,956,418	¥800,576	
	前期繰越収支差額	¥10,936,994	¥10,136,418	¥800,576	
	繰出金収入	¥800,000	¥800,000	¥0	
	寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
	雑収入	¥20,000	¥20,000	¥0	
支出の部		¥0	¥0	¥0	
	繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高		**¥11,756,994**	**¥10,956,418**	¥800,576	

学術奨励金積立金 （定期預金）

科　目		予　算	前年度予算	差　額	備　考
収入の部		¥2,560,301	¥2,555,989	¥4,312	
	前期繰越収支差額	¥2,554,301	¥2,549,989	¥4,312	
	繰出金収入	¥0	¥0	¥0	
	寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
	雑収入	¥6,000	¥6,000	¥0	
支出の部		¥0	¥0	¥0	
	繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高		**¥2,560,301**	**¥2,555,989**	¥4,312	

減価償却積立金 （定期預金）

科　目		予　算	前年度予算	差　額	備　考
収入の部		¥953,848	¥803,700	¥150,148	
	前期繰越収支差額	¥798,848	¥648,700	¥150,148	
	繰出金収入	¥150,000	¥150,000	¥0	
	寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
	雑収入	¥5,000	¥5,000	¥0	
支出の部		¥0	¥0	¥0	
	繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高		**¥953,848**	**¥803,700**	¥150,148	

学術奨励基金 （普通貯金）

科　目		予　算	前年度予算	差　額	備　考
収入の部		¥231,469	¥241,377	¥-9,908	
	前期繰越収支差額	¥231,269	¥241,177	¥-9,908	
	繰出金収入	¥0	¥0	¥0	
	寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
	雑収入	¥200	¥200	¥0	利子
支出の部		¥10,000	¥10,000	¥0	
	繰入金支出	¥10,000	¥10,000	¥0	
積立金残高		**¥221,469**	**¥231,377**	¥-9,908	

６号議案　その他